

平成19年度 インターンシップに関

本アンケート調査は、インターンシップ体験が学生の意識・意欲の向上にどのようにつながったかを検証し、今後のインターンシップ推進支援の事業に役立てることを目的に、インターンシップに参加した学生を対象として実施した。

調査の対象と方法等

1 調査対象

インターンシップ推進支援事務局が運営するインターンシップのポータルサイト「ハイパーキャンパスシステム（以後、「ハイパーキャンパス」という。）」に登録をし、企業に応募した全国の大学生、大学院生、短期大学生および高等専門学校生を対象とした。

3 調査時期

平成19年11月13日～平成20年1月24日

2 実施方法

平成19年度の「ハイパーキャンパス」に登録をした学生のうち、住所データ登録のある学生を対象に郵送方式によるアンケートを実施した。

4 アンケート発送数、回収数および回収率

発送数=1,892件、回収数=555件、回収率=29.3%

調査結果（抜粋）

1 回答者の属性

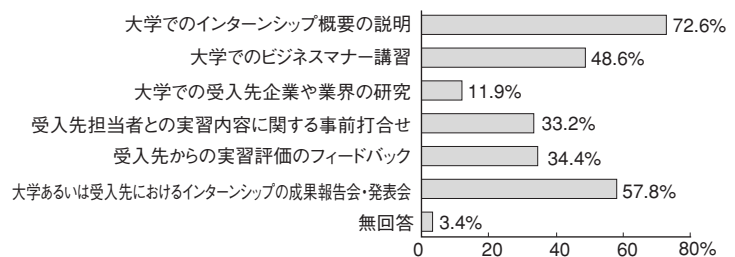
- ・回答者の性別は、「男性」が42.3%、「女性」が57.7%であった。
- ・学部系統は、「文系」が63.9%、「理系」が35.7%、「無回答」が0.4%であった。
- ・性別を学部系統別でみると、「文系」は3割が「男性」（28.5%）、7割が「女性」（71.5%）であったのに対し、理系は7割が「男性」（67.2%）、3割が「女性」（32.8%）であった。

2 参加したインターンシップの概要

○インターンシップの事前・事後のフォローアップとして行われた内容

- ・「大学でのインターンシップ概要の説明」が最も多く72.6%、次いで「大学あるいは受入先におけるインターンシップの成果報告会・発表会」が57.8%、「大学でのビジネスマナー講習」が48.6%であった。（図表1）

図表1 インターンシップの事前・事後のフォローアップとして行われたもの

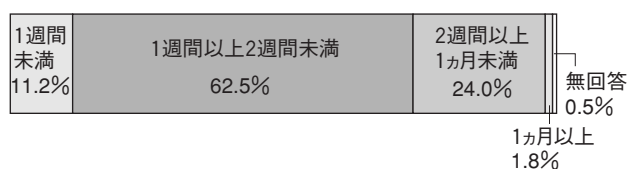


3 参加したインターンシップに対する評価

○期間に対する評価

- ・インターンシップの期間として、適当だと思われる期間は、「1週間以上2週間未満」が最も多く62.5%であった。次いで「2週間以上1ヵ月未満」が24.0%であった。（図表2）

図表2 インターンシップの期間として適当と思われる期間



する学生の意識アンケート調査結果

インターンシップ推進支援事務局(社団法人雇用問題研究会内)

- ・「インターンシップに参加した期間」と、「適当と思われる期間」で最も構成比の高い箇所をみると、参加期間1週間以上の体験者は、同じ期間が適当と思っているが、参加期間1週間未満では、「1週間以上2週間未満」が適当とする構成比が最も高い。
1週間では、インターンシップは短いと感じていることが読みとれる。(図表3)

図表3 実際にインターンシップに参加した期間と適当と思われる期間の関係

	インターンシップの期間として適当と思われる期間					
	合計	1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1ヵ月未満	1ヵ月以上	無回答
合計	955 100.0	99 10.3	540 56.6	235 24.6	64 6.7	17 1.8
1週間未満	152 100.0	46 30.3	90 59.2	13 8.6	1 0.7	2 1.3
1週間以上2週間未満	277 100.0	13 4.7	219 79.1	43 15.5	2 0.7	-
2週間以上1ヵ月未満	116 100.0	2 1.7	35 30.2	76 65.5	3 2.6	-
1ヵ月以上	8 100.0	-	2 25.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-

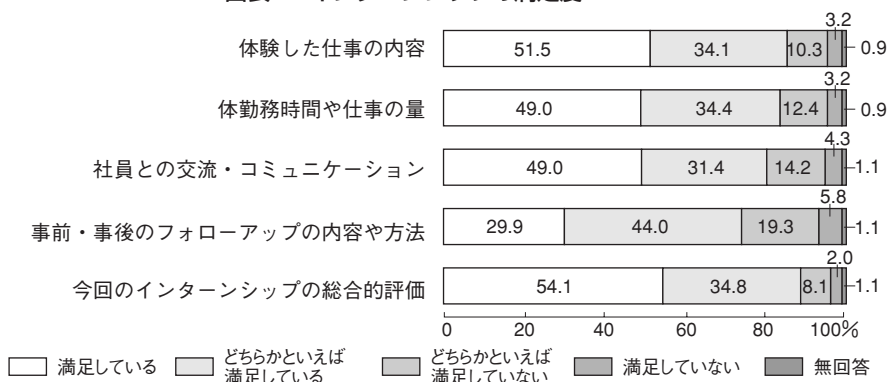
実際に参加した期間

上段：件数、下段：％

○インターンシップの満足度

- ・「体験した仕事の内容」「勤務時間や仕事の量」「社員との交流・コミュニケーション」「事前・事後のフォローアップの内容・方法」「今回のインターンシップの総合的評価」についての満足度を尋ねた。「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせてみると、各項目とも「満足」している割合は7～9割であった。
- ・総合的な評価は「満足」「どちらかといえば満足」を合わせると88.9%であり、かなり高い満足度であると言える。(図表4)

図表4 インターンシップの満足度



○インターンシップ後の意識の変化

- ・「職業や企業についての理解度の深まり」「働くことに対する認識」「就職したい気持ち」「自分自身の適性や能力についての理解」「今まで関心のなかった職種、業種、企業への興味」についての意識変化を尋ねた。「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせてみると、最も多かったのは「職業や企業についての理解度の深まり」であり94.6%であった。かなり大きな意識の変化があったと言える。(図表5)

図表5 インターンシップ後の意識の変化

